

## 在宅医療とチーム医療

社団法人 全国在宅療養支援診療所連絡会  
事務局長 太田秀樹

## 在宅は病棟が地域に

- 医局＝在宅療養支援診療所
- ナースステーション＝訪問看護ステーション
- 病棟廊下＝道路・路地
- 薬局＝保険薬局(調剤薬局)
- デイルーム＝デイサービス・デイケアサービス
- リハビリ室＝通所リハ施設

**病院と同質の医療提供を目指す**

## 24時間在宅医療の構成要素

- 訪問看護 訪問診療(医科・歯科)
- 薬剤師・管理栄養士・歯科衛生士等の訪問
- 在宅療養支援病床 病棟の確保
- 各種介護保険サービスと協調
- 療養環境整備 バリアフリー

2

## 在宅医療適応の3条件

- 介護力 (社会的・家族的)
- 看護力 (訪問看護)
- 療養環境(ICF:環境因子明記)

病態・状態像ではない

胃瘻・人工呼吸器管理の重症小児在宅可

本人の希望＝家族の情熱・愛情

3

## 往診と訪問診療

- 往診: 患者・家族の依頼 急性期医療  
(緊急往診 臨時往診)
- 訪問診療: 病棟回診と同義 病態観察  
(定期往診)
- 標準的在宅医療  
訪問看護師にファーストコール  
(看護評価・診断で対応＝病棟同様)

4

## 訪問看護の機能と役割 (電話 訪問)

- 服薬相談、残薬整理、処方日調整、服薬指導、誤薬チェック・調整  
(10月のA訪問看護ST訪問件数451件、薬関連指導対応153件)
- 病状変化 (発熱、転倒・外傷、下痢、便秘) に対応
- バルン・ストマ・点滴(ポート含む)トラブル
- 褥創処置
- 心不全、感染症、急性腹症 医師の指示に従い対応
- 臨時往診の依頼 (高い水準の看護診断 在宅トリアージュ 救急車要請)
- 家族へのケア指導 精神的支援
- 療養環境整備助言
- 死後の処置 グリーフケア(悲嘆ケア)

医師の諜報部員 患者・家族の弁護士

5

## 医師の役割

- 訪問診療 緊急往診 死亡診断  
(対象者200件 時間外往診 10件/月)
- 訪問看護師への指示 口頭・書面
- ケア会議出席・ケアマネ面会
- 主治医意見書記載
- 各種・指示書記載(訪問看護 服薬指導等)
- 多職種連携 ケアチームの一員として

6

## 急性期・外傷に在宅で対応

- 発熱 (肺炎・尿路感染・胆のう炎)  
化学療法 酸素療法 補液
- ガン末期 緩和ケア 麻薬管理
- 栄養管理 PEG(胃瘻) ポート(IVH)
- 小外科処置・骨折保存療法
- 人工呼吸器管理

7

## 家族の役割 介護職の協力

- 軟膏処置
- 座薬の挿入 服薬援助
- たんの吸引
- 褥創処置(創処置)
- 浣腸(摘便)
- 経管栄養注入 食事介助
- 自己注射 患者の手に添えて支援
- バイタルサイン (BP/BT/SpO<sub>2</sub>)

8

## 国民の期待 病院よりも家

9月11日 日経新聞(交遊抄:水田邦雄)

「在宅ケアだとがん患者はがんで亡くなる」  
病院では治療の副作用で……

11月3日 読売新聞(67歳 介護者)

「病院にずっといたら夫はきっと寝たきりになっ  
ていたと思います」

9

## 病気は家でなおす(佐藤智医師) 医療のパラダイム・シフト

- Cure ⇔ Care
- 急性期 ⇔ 終末期
- 根治 ⇔ 緩和
- 長寿 ⇔ 天寿
- 臓器 ⇔ 人間
- EBM ⇔ NBM
- Date ⇔ QOL
- 専門医 ⇔ 総合医
- 病院 ⇔ 地域

10

## 急性期病棟との連携

- 術後管理を在宅で継続
  - 全身管理を在宅で徹底
- 急変ではない 予想された経過である

入院日数 1/2 ⇒ 病床 2倍

入院患者数 1/2 ⇒ 病床 2倍

在宅医療の充実 病床 4倍？

11

## 縦の連携 同職種間連携

- 病院医師から在宅医へ
- 病棟看護師から訪問看護師へ

薬の情報も

病棟薬剤師から保険薬局へ

在宅医師と訪問看護師は両輪  
薬剤師と歯科医師と四輪駆動

12

## 在宅医療はナーシング

- コミュニティーは、ナースがエンパワーメントできるフィールド
- 在宅医療は医療再生の入り口

雪が解けると

春がくる⇒在宅医療(生活上位概念)

水になる⇒病院医療(生活視点欠落)

13

# ではどうするか

- 制度 システム(例 がん拠点病院同様)

病院側が診療所(在宅療養支援診療所)と契約して地域の受け皿整備  
診療所側が、病院にバックベッドをお願いにすることに違和感  
二人主治医制(病院・地域)  
病院外来に条件

- 診療報酬

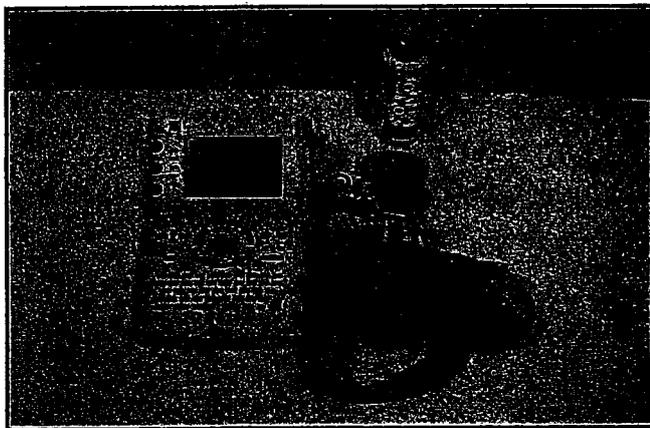
病院の地域連携をさらに評価 傾斜

- 意識・マインド

病院医師 在宅医療への偏見・誤解の払拭

14

写真①



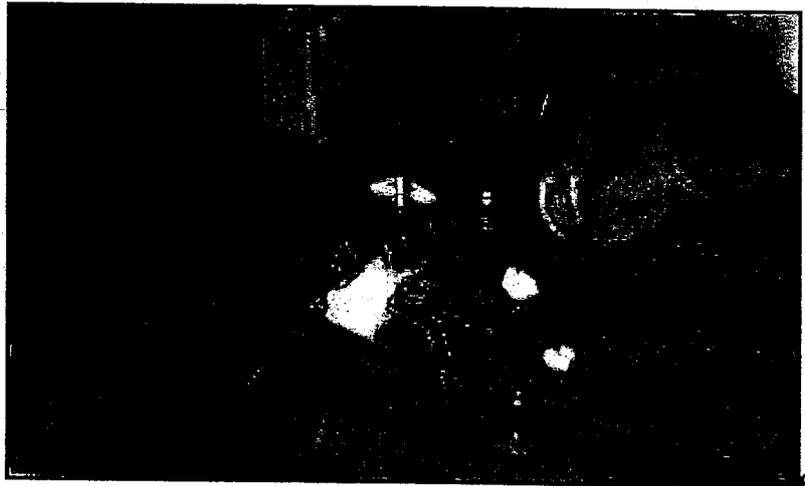
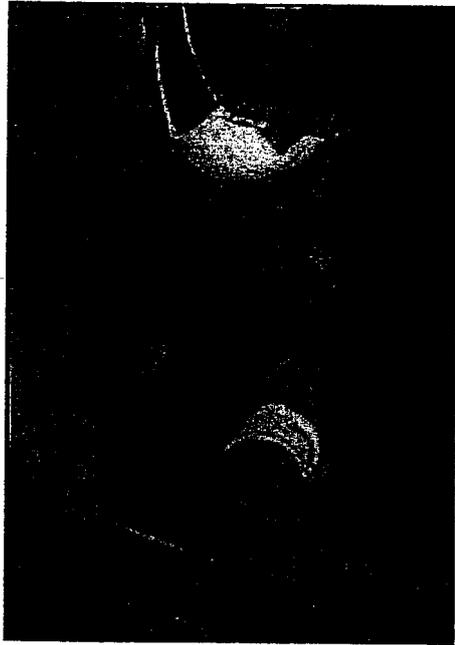
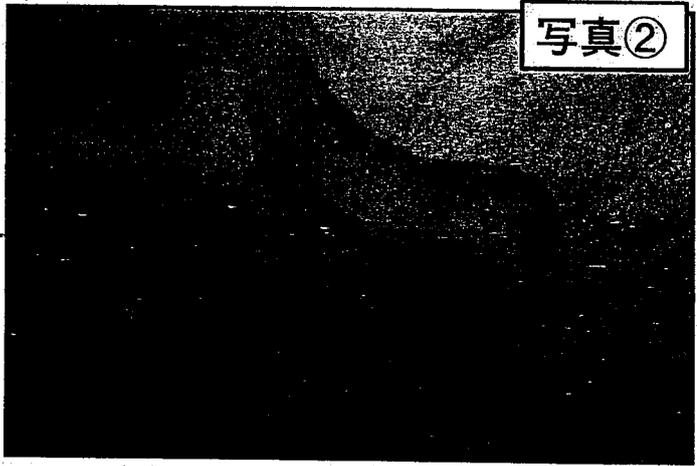
ポータブルエコー



ポータブルレントゲン

15

写真②

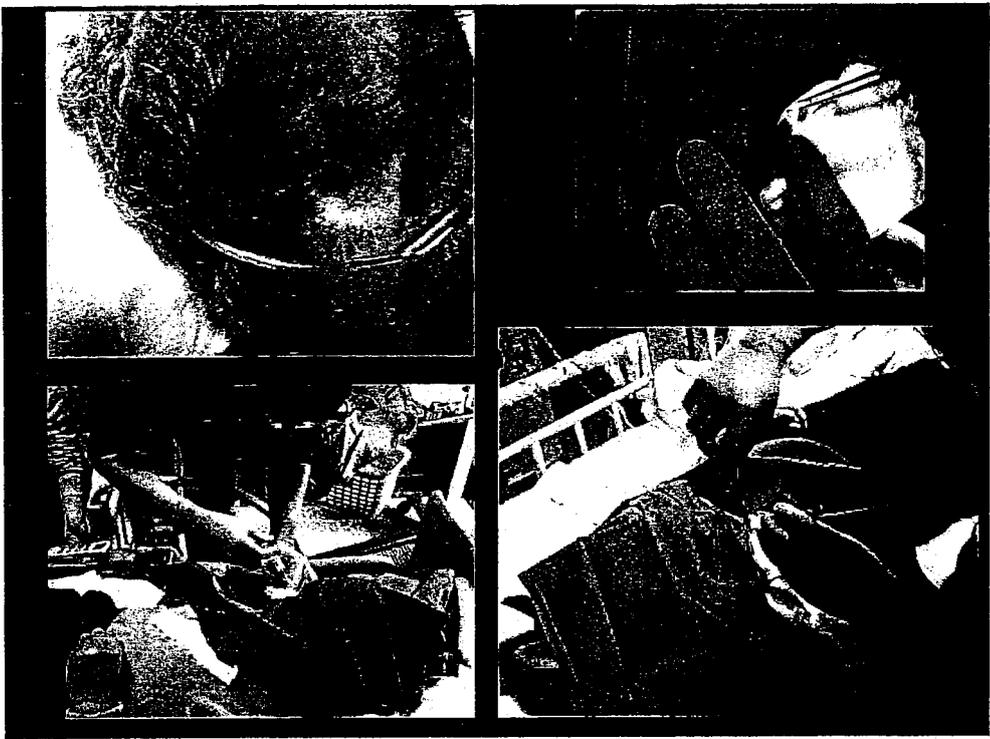


16

写真③



17



認知症高齢者 転等による外傷 自宅での縫合処置

HOT(在宅酸素療法継続中患者の通院の困難性)



画像診断精度が高い